

つなぐ



諫早市立大草小学校
特別支援教育
コーディネーターだより
H31.2.21 No.37
文責 林田

☺ 楽に続けられることがポイント ☺

ひと雨ごとに春の気配を感じるこの頃。重ね着していた服を脱いで薄着になった時のために、そろそろダイエットを…と思い、何度も失敗を繰り返している私です。(＞_＜)

甘いものが大好きな私にとって、「おやつを食べない」というのは苦行に近い?かも。がまん、がまんと思うと余計にストレスになって、結局誘惑に負けてしまう…といった有様です。(+_+)

ダイエットに限りませんが、何事も「無理せず続ける」ことが肝心なようです。楽に長く続けることができて初めて「習慣化」できるのでしょう。

子育てもまたしかり。子どもたちが楽に毎日続けていくうちに、いつしか「当たり前」のこととして習慣づけることができるのでしょう。親も子もストレスをできるだけ感じない方法を探っていきたいものです。



これが理想だけで…

反動で、こうならないように…

☺ 最近気になることの一つに… ☺

スーパーに買い物に行くと、時間帯によっては親子で店内を回っているたくさんの方々とすれ違います。親子で「何を買おうか」と相談しながら歩く姿は微笑ましいものです。

一方で、他のお客さんがいるのにお構いなく、店内をもの凄いスピードで走り回る子を見かけることもあります。

最終的に、走って自分の親の所にたどりつき、何食わぬ顔でいる子と、そのような我が子に、何の言葉もかけずのんびり買い物をしている大人(親)…。

みなさんは、目にされたことはありませんか?私はとても気になっています。

ある人が、店内で走り回っている子に、穏やかに(怒ってではありません)、

「お店の中には、他に買い物をしている人がいて危ないから、走らない方がいいよ。」

と声をかけたら、きよんとした顔をして、どこかへ行ってしまったという話を聞きました。

「きよんとした顔」をしたということは、言い換えるとその子は、「店の中は走る所ではない」ことを知らなかった可能性があります。



さて、最近話題になっている「児童虐待」に関して、「**ネグレクト**」という言葉をお聞きになったことがあるでしょうか。「**ネグレクト**」とは「**育児放棄**」とも呼ばれます。具体的には、**必要な世話をせず子どもを放置しておく**ことを指します。「**食事をさせない**」「**お風呂に入れない**」「**服を着替えさせない**」「**病気なのに病院に連れて行かない**」など、**子どもが健やかに成長するために必要なことをしない**ことを言います。

ネグレクト



この他、最近では、スマホに夢中になって子どもを無視する「**スマホネグレクト**」も取り沙汰されるようになりました。

「スーパーで走り回る子」と「ネグレクト」、一体どんな関係があるの?と思われるかもしれませんが、先の話に戻りますが、「走る場所ではない」と注意された子が、「きよんとしていた」つまり、「走ってはいけない場所であることを知らなかった」。言い換えると、「保護者がスーパーに連れてきたときに、『ここは走ってはいけない場所』だと教えて

いなかった(走っていても注意しなかった)」とすると、子どもに社会でのルールを教えることを保護者が放棄したと考えられないでしょうか?

子どもたちを心身ともに健やかに育てるために、このような「隠れた(無意識の?)ネグレクト」を何とか無くしていけないかと思うこの頃です。